

9月オープン

訪日客誘致・地域振興

ここまで
出来ました

日本全国食品館

瓦が少しずつ積み上がっております。見学は可能ですが、事故などの恐れがありますので、絶対に作業現場には近寄らないでください。



●看板(超大きな看板:高さ7m×長さ23m)文字の工事が終われば完成します。(ただし、日本全国食品館のオープンは9月になります)

●匝瑳市建設課が大型バスが入れるよう、橋を広くしてくれました。(これで大型バスの入場が楽になります。ホテルや観光業者の方へのPRもできます。)

日本全国食品館の9月オープンに向けて、着々と進めております。今後とも皆様のご協力をお願いします。

良い事を願おう！やれば出来る！

私達の匝瑳市を始めとする、この九十九里浜沿岸にすむ住民は、自分たちが住む地域が、いかに良い所なのかを認識できずにいた。人口減少や景気低迷を実感しながら、この地域の利点や豊富な資源を活用できず、今こそ何か夢を持って新しい事業に取り組まなければならないという事が分かっているながらも、出来ないでいたのではないだろうか。

確かに失敗する事も考えられるだろう。しかし、今、世の中は、ものすごい勢いで変化している。増加するばかりであった日本の人口は、少子高齢化で減少し、人の力の結集であった日本の活力は、今の状態のままでは衰えるばかりである。

以前には考えられなかった程、ものすごい勢いで自分たちの身の回りの環境が変化している。特にすごいのがインターネットの活用によって、日本中、世界中の情報収集や、情報発信が簡単に出来るようになった事です。

インターネットの情報で、日本を訪れる外国人観光客が急増しているという事実です。

これ程、世の中が変化しているのに、自分たちが昔のままのような動き方、働き方をしていたら、時代に取り残されるのは、当然ではないだろうか。

「やれば出来る」という言葉がある。又、逆にやらなければ、何もできないのである。いや、やらないから、時代の変化についていけず遅れるのである。

今、私は若い人に、「やれば出来る」と大きく叫んでもらいたいと思う。私らのような平均寿命の半分以上を過ぎた者も次の時代のために、元気に楽しく働いていきたいと思う。

「失敗してもいい。いつでも立ち直れる」という強い信念を持って、新しい事にチャレンジして欲しい。

良い事を願うのだ。そして、それに向かって努力する事だ。そうすれば必ず出来る。

私も及ばすながら、新しいことに挑戦し、次の時代の人に夢や希望を抱かせたい。そして、それが達成できた時の喜びを分かち合いたい。

平成 28 年 5 月 吉日

株式会社アイ・エイチ・エス

代表取締役 石井 一孝

